

財団法人8020推進財団

平成19年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名 : フッ化物による、むし歯有病者減少の取り組み

2. 申請者名 : (社) 沖縄県歯科医師会 会長 高嶺明彦

3. 実施組織 : (社) 沖縄県歯科医師会、

4. 事業の概要 :

沖縄県では、3歳児のむし歯有病者率が平成13年度～16年度の4年連続全国ワースト1位で、12歳児の1人平均むし歯数は全国の約2倍(平成17年度)という状況であり、他の都道府県に比べて、幼児期や学童期のむし歯が最も多い状況である。

う蝕予防に対する有効性がもっとも確立されているフッ化物のう蝕に対する応用は、本県のう蝕有病者率を大幅に下げることが期待される

そのため、フッ化物応用に関する各種普及啓発活動を実施する。

5. 事業の内容 :

- ①. フッ化物及びフッ化物洗口の安全性や活用方法等の講演会の進め方やフッ素洗口の導入手順の作成
- ②. 各地域で、本会会員及び沖縄県(保健所等)と連携をし、保育所(園)で、職員及び父兄を対象にフッ化物及びフッ化物洗口の安全性や活用方法等の講演会や相談会を実施する。(H19年度延べ40回実施)
- ③. 各地域での、講演会用資料及び講演用データー(パワーポイント)、配布用パンフレット等の作成及び配布。
- ④. 初年度のフッ素洗口に係る経費(溶解タンク・洗口剤等)の一部支給をする。
- ⑤. 第31回むし歯予防全国大会を沖縄で開催し、フッ化物の有効性を県民にアピールする。
平成19年11月23日(祝) 沖縄県男女共同参画センター「ていりる」にて開催(参加人数370人)

6. 実施後の評価(今後の課題) :

[フッ化物による、むし歯有病者減少の取り組み]「むし歯予防全国大会 in 沖縄」ではこれからフッ化物洗口を取り入れようと考えている保育施設の関係者や嘱託医が多数参加し(370人)、結果的に2006年調査時フッ化物洗口を行っている施設が31施設だったのに対して、2008年調査時には90施設にまで増えた。保育施設および保健所での保育士向けの講演会を実施することで安全性について再確認し、正しい情報を伝えることができました。今回作成した、講演用データ(パワーポイント、冊子67ページ)を嘱託医が上手に活用することで子ども達のお口の健康に役立てることができると思います。今後の課題としてはフッ化物洗口実施施設を確実に増やしていくこと。フッ化物応用に対して不安や疑念をもつ人の1人でも多くの誤解を解いていくことです。